



## 「世帯主」制度と男女平等を考える —国賠同盟県女性部主催 一月二十九日 アウガー

そもそも「世帯主」って何?  
この疑問はコロナ禍の十万元

支給で、受給権が世帯主に限定されたことです。この問題は男女平等にもー。  
高橋万里さん（日本共産党政策委員会）の冒頭タイトルの資料等参照しながら話合われました。

（参加者の体験から少し紹介します。）  
「過去に職場で家族手当の申請（事情により）をしたら世帯主でないのでダメと言われた。また国保料は自分名義は自分で支払っているのに、夫名で郵送されてくる」別例では「友人の借入れと一緒に銀行へ行き、保障人の申請をしたが、世帯主でなければ出来ない」と言われた」等、恍然としない。

（同盟女性部、参加九名うち  
男性二名） 記・松橋



No. 560

編集発行人 田中幹夫  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
〒113-0034  
東京都文京区湯島2-4-4  
平和と労働センター全労連会館内  
電話 03-5842-6461  
FAX 03-5842-6462  
振替 00110-6-97793  
定価 50円

青森県版  
2021年2月15日発行

第344号

T030-0821  
青森市勝田二丁目7-3  
山脇ビル  
TEL 017-721-9018  
FAX 017-721-9019

青森県本部



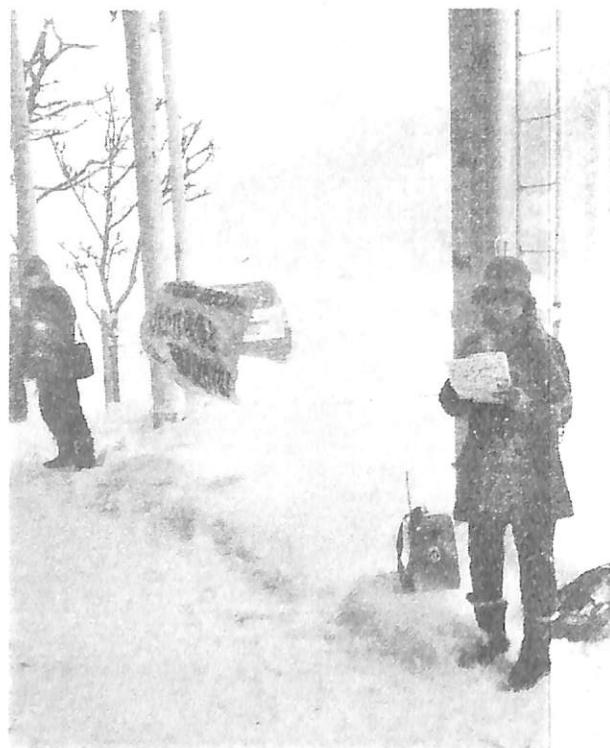
△12月3日、日本学者会議八戸分会が市の中心街で学術会議6人の任命拒否に抗議し撤回を求める運動に取り組んだ。手書きのプラカード「学問の自由→平和への道／学問の統制→戦争への道」を持って参加。ハンドマイクが回つて来た△「私が生まられた時、日本は戦争する国でした」から始めた。教育も政府の目論見もあるのです。代からの「家制度」で戸主権が続いている事です。そこには最年長者は、今は昔と比べて男性もゴミ出しをされたり、随分変わってきていると話していました。それでも賃金の格差や、ジェンダー平等（性差）の問題がたくさんあるのではないでしょうか。私はやはり声を上げて行こう。知らないうちに憲法二十四条も改憲草案になつていこう。知らないうちに憲法二十九条も改憲草案になつていいことも解ったから△。国賠同盟は理解されにくいでですが、「人権を守る！」を軸にしてと、違反の「戦争できる国」づくりに邁進するアベ・スガ政治の下での「任命拒否」であることとを強調し、ともに声を上げよう」と訴えたのだつた。市民の反応は……？△私が生まれた1935年、永嶋ヨネは全協の織維女工オルグ中に治安維持法で不当投獄されていた。はちのへ九条の会はこの2月に発足15年となる。スガ改憲許すまじ！（うち）

まず、沼田支部長の挨拶に始まり、二〇一九年度の我が支部の活動状況、決算報告、監査報告がなされました。沼田支部長は、この最初に短時間でも「治安維持法と現代」を活用することを学びました。集まりの最初に短時間でも「治安維持法と現代」を活用することを学びました。集まりの最初に短時間でも「治安維持法と現代」を活用することを学びました。集まりの最初に短時間でも「治安維持法と現代」を活用することを学びました。

署名・宣伝・議会請願・學習・組織強化などは前年度と同じ目標です。目標達成を参加者全員で確認し、コロナの終息を願いつつ、同盟員の店からとつた弁当を食べ和やかに総会を終えました。

二〇二〇年十二月十五日

砂渡久美子 記



## 猛吹雪の中 街宣行動

一月二十七日、県・東青支部は開始以来七十五回目の街宣を行いました。参加者は六名。今回、マイクは吉田祥子、松橋慶子、鎌田哲成の三名が握り、「戦争は許さない」「人権を奪う弾圧は許さない」と力強く訴えました。凍るような寒さの中、足を止めて署名に協力してくれる人たちに感謝です。

## 上十二支部 第6回支部総会を開催

十月二十一日、第六回支部総会を開催しました。コロナ禍のなか参加者がどのくらい集まるか心配でしたが、二十九名中十二名が参加しました。他支部が総会で勉強をしている例に倣つて、まず「中学校歴史教科書のなかの『治安維持法と山宣』」(治安維持法と現代一二〇一六年春季号No.31)を使い、教科書によつて歴史認識に大きな違いが生じることを学びました。集まりの最初に短時間でも「治安維持法と現代」を活用することを学びました。集まりの最初に短時間でも「治安維持法と現代」を活用することを学びました。集まりの最初に短時間でも「治安維持法と現代」を活用することを学びました。

した。コロナ禍で支部の活動が停滞ぎみで、特筆すべきことはありませんでした

が、唯一新しい試みが街宣を六戸町でしたことでした。担当地域全部を回り黄色の旗を立て、国賠同盟の存在を知らしめる活動の必要性を痛感しました。

鎌田哲成の三名が握り、「戦争は許さない」「人権を奪う弾圧は許さない」と力強く訴えました。

凍るような寒さの中、足を止めて署名に協力してくれる人たちに感謝です。

昨年の十二月十五日、県民福祉プラザにおいて、「種まく人びと」の視聴をしました。この映画は、国賠同盟創立五十周年を記念して作られたもので、戦前の暗黒政治のもと、命がけて侵略戦争に反対し、主権在民、平和を主張したために弾圧された、治安維持法犠牲者の戦いと、その志を引き継いだ人々の不屈の記録です。

時節柄、検温や手指消毒、マスクの着用を確認し、十名の参加者も揃つて開会



東青支部 池辺せつ子

## 映画『種まく人びと』

### 視聴と新会員交流の集いの報告

です。

工藤哲子理事の司会のもと、始めに県本部事務局長の鎌田氏の挨拶があり、およそ45分の上映のあと、参加者がそれぞれ自己紹介と感想を語り合いました。

映画を観て驚いたのは、活動家でもなく、ただ友人の絵を描いただけで逮捕、拷問を受けた犠牲者もいたことです。

また、特別活動をしていました。特別活動をしているわけではないけれども、地域の人たちとの日々の触れ合いのなかで、自分なりに種をまいているとの発言は、あらゆる運動の根っこのようだし、そのあとのお天気が悪くて参加を迷つたけれど、来て良かったと言

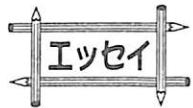
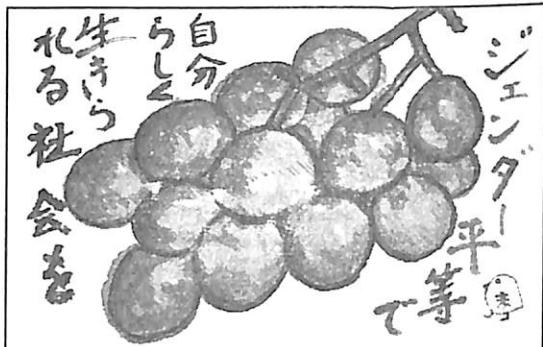
われた時は、思わず心の中で拍手をしてしまいました。お孫さんをとおして、今お若者の実態や、社会の仕組みや選挙の大切さ等を伝えていく難しさ。犠牲者に謝罪がないのは許されない事など。たくさん意見が新鮮でした。

小人数でもいいから、上

映会をこまめに開いて種をまいていきたいと提案があり、今後の運動の柱の一本になりそうです。

地吹雪ツアーにはもつてこいの悪天候のなか、遠路はるばる浪岡から六人も参加されたのは感激でした。残念ながら参加できなかつた会員の皆さんには、是非「種まく人びと」の視聴をおすすめします。





## 私が出会った子どもたち…… 自己表示する子ら

中村 修

(元小学校教師)

「ナガムラ先生でネガ?」  
唐突に話しかけられ、少々  
驚きながら振り向いたら見  
憶えのある表情がほほ笑んでいた。

「えくつ、孝光君じゃないの?」  
咄嗟ではあつたが、かつて  
の呼び名が蘇つた。孝光君は、  
約3年前の教え子だ。

「小学校の時の俺の名前、  
憶えてるんだ! 小学校の  
先生つてすごいもんだナ。」  
とあるコンビニの駐車場で、  
偶然に出会つた瞬間の出来事であつた。

傍らの「社員」でもある若い妻がにこやかに会釈してくれた。聞けば、いわゆる《個人事業主》として建築現場などの補修工事請負をしているという。

「関東にいた頃、俺、右翼団体の構成員やつてたんだ。ナガムラ先生、確かに日教組だつたよナ。俺、日教組の事務所にも何回も殴り込みに行つたんだ。」  
饒舌に語る彼の話には、不思議に違和感を覚えなかつた。  
「右翼団体で暴れもしたけど、ナガムラ先生のことは、忘れなかつたよ。日教組だけど俺にとつては、いい

先生だつたものナ。」「小学の頃も俺、あまりいい生徒でなかつたもんナ。それでも、ナガムラ先生、俺を見放さなかつたもんナ。」  
ひとしきり、「昔の思い」を一方的に話終り、「へバナ! 先生も元気でナ!」連絡先を交わすでもなく、再会の約束をするでもなく、孝光君は、さわやかに去つて行つた。  
小学生の頃の孝光君は、学級でも異端児であつた。多くの場合、自らの意思をもつて集団と関わることを避け暮らしていた。集団から外されたのではない。「俺は、お前達とは一緒にやらない』でも、俺は独りぼっちなんかではない」と、彼なりのポリシーがあつた。しかし、必ずしも明確な見通しがあるとは限らなかつた。

そんな孝光君が、《絵本づくり》に興味を示し、私に用紙を要求したり、絵の描き方・帳合の仕方など教えを乞うてきた。実は、孝光君は、学習にも身が入らず、読み書き・計算が大の苦手だった。

『絵本づくりクラブ』を作りたいという孝光君に仲間を誘い、図書室の絵本の読み聞かせから始め、『創作』の手ほどきをした。学級の中で『絵本読み聞かせ会』『絵本づくり講習会』が盛んになり、私はその度に『講師』である孝光君の『御傍付き』として働いた。  
約三ヶ月に及ぶ《学級・絵本づくり大運動》の中心人物として活躍した孝光君の創作絵本「せんそうのはなし」は、合評会で最高の得票を得た。これが全校放送で見つかりませんか? 読むよろしくも本当の音があつた方がいいんです。』と私に要求しが破裂するドカーンという音、見つかりませんか? 読むよろしくも本当の音があつた方がいいんです。』と私に要求しがた。孝光君の本気度が最高潮に達していった。

この時から、孝光君の仲間集団を自ら退けるポリシーは、変貌を遂げていたのかもしれない。今も私の手許にある「せんそうのはなし」の表紙絵が進化を遂げているように見える